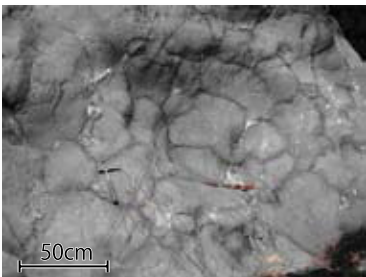
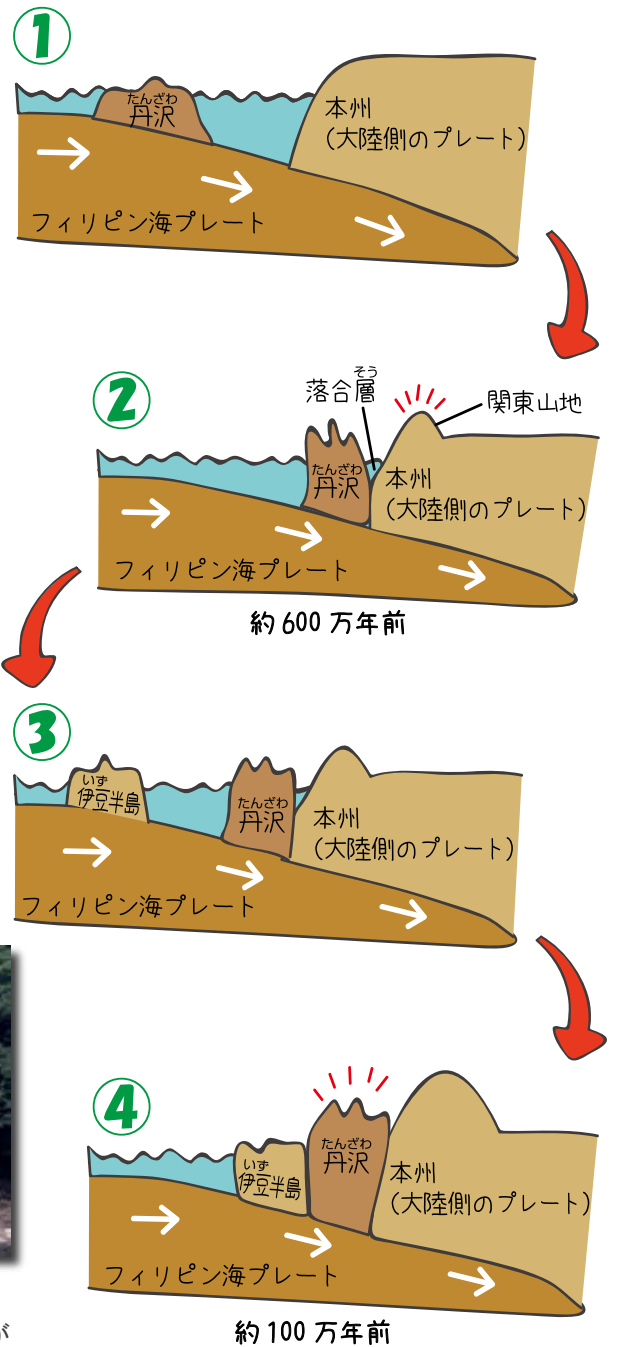


2. 丹沢は南の海からやってきた

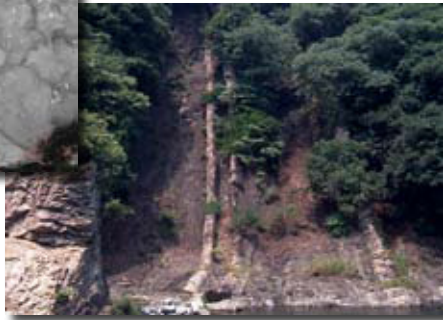
● 丹沢は南の海の火山島 ●

今から約1,500万年前、丹沢は南の海に生まれた火山島でした。このころの海は、今よりも暖かい海でした。フィリピン海プレートの動きとともに、丹沢は本州に向かって移動し、やがて長い時間をかけて本州側にくっきました。それが約600万年前のことです。

その後、丹沢の南にあった伊豆半島も本州に向かって移動し、約100万年前にくっきました。そして、本州と伊豆半島にはさまれて、もり上がった場所が、丹沢山地となりました。



まくらじょうやうがん
枕状溶岩
丹沢火山島から流れ出た溶岩が冷え固まったもの（早戸川上流）。



たて ちそう
縦になった地層
プレートに押し上げられた力でゆがんだ地層（相模原市津久井町）。

プレートって何

地球の表面はいくつかのプレート（かたい岩の板のようなもの）に分かれていて、それが絶えず動いて、押し合っています。

日本は、4つのプレートが押しあう場所にあり、地震が発生しやすいといわれています。

丹沢から伊豆にかけて、3つのプレートが沈みこむ場所は、世界的にみてもめずらしい場所です。

